

週報 こひつじ

第40巻 12号
大津キリスト教会
菊池郡大津町室 119
TEL 096-293-4470
FAX 096-293-4961
牧師 米村 英二

の悩みがなかつたら、教会にゆくことも、キリストと出会うこともなかつただろう。

はなかつた。しかし、振り返ると、そこには自分の想像をはるかに超えた祝福が準備させていたのである。

これによつて私は学んだ。自分で道を選ぶより神に選んでいただくほうが、はるかに安全であると。アブラハムの場合も、そうだったのでないか。彼は神に促され、故郷のメソポタミアを出発した。

次にイエスは言われた。

むしろ多くの人は言うのではな
いか。

自分の手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をさせて、あなたの行きたくない所に連れて行きます」（ヨハ

しかしやがて年をとる。
そのとき、
連れてゆかれる人生歩んできた
のではないだろうか。

「自分の描いていた夢は実現した。
願ったとおりの人生だった」
私の場合もそうである。
私は大学へ進みたかったが、家

う。と言える人がどれだけいるだろ
う。の経済的事情がそれをゆるさなか
つた。それで悩んだ。しかし、そ

結局、彼は自分の土地をもたず、旅人、寄留者としてそこに住み、そして死んだのである。

私たちには、それを読んで思う。

神の約束はどうなったのかと。

神は、彼を欺かれたのだろうか。

さらに不思議なのは、アブラハムが、明らかに欺かれているのに、

それについて何の苦情も不満も言つていないことだ。

それはなぜなのか。

アブラハムも、最初は、土地を期待し、それを思い浮かべて旅をしただろう。土地を得ることが自分的人生の意味だと考えていたときもあつただろう。

が、しだいに神が自分になさつておられるることは、それとは違うのではないかと思うようになつた。

彼の魂はもはや地上の富では満たされないほどに広げられ、「さら

にすぐれた故郷、すなわち天の故郷」に憧れる人間へと変えられていったのである。

こうしてアブラハムも神に帶を締められ、行きたくない所へ連れてゆかれる人生を送つた。しかし、その結果、彼は地上のものからま

つたく解放された自由な魂の人と

のだと。(続)

を与えてくださつたのだと感謝することでしょう。

それこそは神の約束の実現だつたのではないだろうか。

だから、少し年齢を重ねた私たちは、ブラウニングとともにこう歌おうと思う。

○第一礼拝は午前一〇時から、第二礼拝は午前一一時から。

○教会学校は午前一〇時から。

○説教は米村牧師。

○第二礼拝後、教会墓地で山下八名でした。

円さんの納骨式をします。

先週の礼拝

人生の最後、そのために

最初もつくりられたのだ。

我らの時は、聖手の中にあり、

神言いたもう

すべてを私が計画した。

青年はただ、

その半ばを示すのみ。

神にゆだねよ。すべてを見よ。

しかして恐れるな！」と。

「さまざまな試練に会うときは、

それをこの上もない喜びと思ひなさい」

と言つていますが、実際に、苦

しみのただ中で、そう思える人が

どれだけいるでしょう。多くの人

は、「主よ、助けたまえ」と、ただ

ひたすら祈るほか何もできないの

ではないでしょうか。

それでも試練が過ぎると、ああ、

神様は、こんな自分にも耐える力

今日の礼拝

先週の出席

第一礼拝が三一名、第二が三三

名、合計六四名(男二二、女四三)。

それに子どもが四名、合わせて六

〇第一礼拝は午前一〇時から、

第一礼拝が三一名、第二が三三

名、合計六四名(男二二、女四三)。

そこで六回の授業をすることになつてあります。二一日は大阪府八尾市

の道本純行牧師の教会で礼拝説教

の予定です。

○ホンダの本社(東京)に長く勤めておられた野口裕治さんが、

四月から熊本工場勤務となり、帰

つて来られます。うれしいニュ

ースです。ただ家族は、子どもたち

の学校のこともあり、数年は東京にとどまるとのことです。